

平成23年3月

関門航路早鞆瀬戸における船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、関門海峡早鞆瀬戸における特有の潮流影響や航行形態による衝突・乗揚げ海難発生のメカニズムについて、これまでの同種海難の実例30件余りを細部にわたって調査・解析し、早鞆瀬戸を航行する船舶に起こり得る海難要因を確認した。

更に、潮流の詳細データを組み込んだビジュアル型操船シミュレータ実験や、AISによる航跡データなどの実態情報を活用して早鞆瀬戸の安全運航のために必要となる航行安全対策を調査・検討した。

早鞆瀬戸を含む関門航路においては、これまで航法等の見直し、航路や航路標識の整備、あるいは関門海峡海上交通センターの機能強化など、海難防止を図る観点から様々な取り組みが行われてきたが、今回の検討により複雑な潮流影響を受けた場合の船舶の挙動など、早鞆瀬戸を通航する際に注意すべき点がより明確になり、それらを踏まえ当該海域における衝突・乗揚げ海難を防止するための対策を提言した。

具体的な対策として、早鞆瀬戸における追い越しにかかる制限の強化や、優速規定の見直し等を提案するとともに、これらの対策を講じた場合には、併せて操船者による海域情報の適切な事前把握と活用などに対する配慮が不可欠である旨附言した。

2 調査等概要

- (1) 基礎検討の概要
- (2) 航行環境
- (3) 海難事故事例の分析
- (4) AISデータによる解析結果
- (5) ファストタイム操船シミュレーションによる潮流影響の確認
- (6) ビジュアル型操船シミュレータによる事前検討
- (7) その他の調査
- (8) 基礎検討結果のまとめ
- (9) 検討方針
- (10) 安全航行に関する検討
- (11) 待ち行列シミュレーションによる影響の検討
- (12) 検討結果の取りまとめ
- (13) 総まとめ（提言案）